

# 五橋同窓会報

第 54 号

発行

仙台市立五橋中学校内  
五橋同窓会  
☎(022)225-5476

印刷

創文印刷出版株式会社  
☎(022)222-0181



## ご挨拶

同窓会会長

福島 経一

猛烈な暑さが続いた夏も、みちのくの夏まつりが終わり、お盆が過ぎると、朝夕がほっと一息つけるようになりました。

佐藤安彦会長からバトンタッチを受け、本年より会長を務めております福島経一と申します。よろしくお願い申し上げます。

中秋の名月を数日後に控えた、五連休の初日に、お忙しい中、同窓会総会・懇親会にご出席いただき誠にありがとうございます。

常日頃は同窓会のために、色々のご尽力とご協力を賜っておりまして深く感謝申し上げます。

同窓生も本年の卒業生

二二三名を加えて四四四〇名を数えております。又、現役諸君も県中総体の柔道で優勝など、各方面で輝かしい活躍をしております。

総会の当番幹事は、卒業して三三年目の満四八才でその役割が巡ってまいります。今

年は昭和五七年三月卒業の皆さんが当番幹事として、総会・懇親会の準備を進めてください、本日無事開催できましたこと感謝申し上げます。これを機に同期の皆さんの絆が深まり同窓会発展の大きな原動力になりますことをご期待申し上げます。

最後になりましたが、母校五橋中学校の益々のご発展と同窓会の繁栄を祈念申し上げます。挨拶といたします。



## 生徒数の変遷

学校長 郷 家 雄 二

平成二十七年度の五橋中学 一学年七学級、二学年六学級、生徒数六七五人（昨年度より五人減）、学級数は

運営されています。昨年度までであった院内学級が、仙台市立病院の移転に伴って郡山中学校に移り、本校所属ではなくなるという変更がありました。

さて、これまでの五橋中学校生徒数の変遷を見てみたいと思います。

新制中学校が始まった一九四七（昭和二二）年度は全校生徒数九五九人でスタートしていますが、二年目から一〇〇〇人を超えています。ピークは一九六二（昭和三七）年度の二三〇〇人でした。

その後、一九八八（昭和六三）年度まで、一九八一（昭和五六）年度以外は、毎年一〇〇〇人以上の生徒数であったようです。一九八一年度は丙午生まれの方の多くが中学三年生になった年です。

一九八九（平成元）年度から生徒数が一〇〇〇人を切り、その後減少の一途をたどって、二〇〇七（平成一九）年度には最少の五三三人にまで減りました。その後、少しずつ生徒数が増え、現在

に至っています。

私が五橋中に着任してからの四年間は、六九二→六八八→六八〇→六七五と毎年一桁の人数ずつ減少している状況です。

ところで、校舎増改築などを担当する学校施設課では、今後十年間の五橋中の生徒数を推計しています。

それによりますと、最初の五年ほどは小さい増減を繰り返すようですが、その後の五年ほどは増加に転じ、二〇二五（平成三七）年度には現在より二〇〇人以上増加の九〇〇人近くになるようです。この推計は不確定要素が（特に五橋中では）多く、今後の推移を見ていくこととなりますが、今後、状況によっては、校舎増築などの可能性がある、ということをお伝えしたいと思います。

最後になりましたが、五橋同窓会のみならずのご発展を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

# 平成26年度 五橋中学校同窓会

平成 26 年 9 月 20 日 (土)  
ホテルメトロポリタン仙台



佐藤会長ご挨拶

平成二十六年九月二十日(土)、ホテルメトロポリタン仙台にて平成二十六年度五橋同窓会総会・懇親会が開催されました。

総会では佐藤安彦会長の挨拶に続いて議事に入り、役員改選において福島経一氏を新会長に選出しました。

懇親会では、高橋実行委員長の開会の挨拶に続いて郷家校長の祝辞、来賓・恩師の紹介があり、福島新会長の乾杯で祝宴に入りました。

アトラクション、校歌斉唱とプログラムは進み、次年度太田実行委員長へのペナント引き継ぎが無事行われ、中締めとなりました。



福島新会長ご挨拶



高橋実行委員長ご挨拶



校長先生ご祝辞



アトラクション



28 年度当番代表の高橋さん



新役員のご紹介

# 「過去、現在、そして未来へ」いざ結集！ ～伝統の誇りを胸に、新たな出発～

昭和58年卒業同期会 同窓会実行委員長 太田 浩 一



「昭和58年卒業生が平成27年度の五橋同窓会幹事学年になつていたので、五橋中学校に来校し、幹事会に参加してほしい。」

前年度実行委員長の高橋孝敏先輩より、昨年7月に連絡がありました。それまで同窓会総会の存在を知らなかった私は、何のことか分からないまま幹事会に参加しました。そして、昨年度総会に至るまでの諸先輩方の準備の様子を見させていただき「大変な役割を引き受けてしまった」と思いました。

同窓会総会開催に当たり、諸先輩方が異口同音に言われていたのが「可能な限り多くの同期生と連絡を取り、この会に参加してもらうこと」の大変さでした。私として例外ではなく、中学校卒業から33年が過ぎた現在まで付き合いが続いている同期生がそう多くいるわけではありません。それでも「力を貸してほしい」と心当りに連絡したところ、快く「手伝うよ」と言ってくれた仲間がい

てくれたおかげで、何とか平成27年度同窓会実行委員会をスタートさせ、本日のこの会に至ることができました。手探り状態での準備が多

かった一年間でしたが、思いの外これまで社会人として学んできたことが、作業に生かされていることに気付かされました。「引き継いだ資料を整理し、準備期間のスケジュールを立てること」「毎回の実行委員会で何を話題にし、次の見通しを立てていくか」「印刷物や広告・協賛について」「アトラクションについて」「会場との打合せについて」などです。これらについて実行委員のそれぞれが、仕事の経験を生かして段取りを考えてくれました。諸先輩方の御協力も多大なものでした。兄弟関係から私たちに、我々の同級生の消息を知

らせるよう働き掛けていただいたり、インターネット等を通して同窓会総会の知らせを広めていただいたり、実行委員会開催の際に疑問に思っていることや配慮事項に丁寧に答

えてくださったりしました。これらすべてのことに感謝するとともに、卒業後の時間を越えた、同期の仲間や先輩方との絆を深めることができました。

さて、今年度同窓会のスローガンを「過去、現在、そして未来へ」いざ結集！～伝統の誇りを胸に、新たな出発～としました。これは、同じ学舎で3年間を過ごした仲間としての「過去」の出会いを、今年度同窓会での出会いという「現在」に生かしたい。そして、今回の出会いで終わらせることなく、これから先の「未来」

へのつなげていければとの思いを込めた言葉です。今日のこの日が過去を懐かしむ機会であるとともに、これからの新たな出会いにつながることを願っています。



最後にありますが、今年度同窓会開催に当たり幹事会にて温かい御助言をいただいた、同窓会会長 福島経一様をはじめ、同窓会役員、歴代同窓会実行委員の皆様方。そして、本会の開催に当たり、広告・協賛を頂いた各社の方々に心より感謝申し上げます。そして、本日御多用の中「五橋同窓会」へ御参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。今後の同窓会のますますの発展を祈念しつつ、挨拶いたします。

平成27年度 五橋同窓会

「過去、現在、そして未来へ」いざ結集！  
～伝統の誇りを胸に、新たな出発～

平成27年 9月19日(土)

会場 江崎グランドホテル

受付 17:30～  
開会式 18:00～  
懇話会 18:15～

定員 6,000名  
総収入目標 10,000円

お申し込み先  
〒527-0118 和歌山県和歌山市  
和歌山県立五橋中学校同窓会  
TEL 023-225-5476

# 同期会だより

## 『五橋同窓会魂』

(昭和二十七年卒)

私は、昭和二十四年の入学ですが、当時の校舎は木造の二階建、東西北に三つの翼を広げたような校舎でした。この稿を書くために入学当時の写真を探し出しました。それは古い木造校舎をバックにした私達クラスの集合写真です。現校舎は、その校舎からみれば三代目。隔世の感を禁じ得ません。懐かしさが、胸



いっばいに広がります。私は、片平小卒業ですが、在校中の昭和二十三年一月六日の火災により校舎が全焼。当時五年生の私達は分散授業となり、第九中(当時の学校名で昭和二十四年五橋中となる)に通学を割振られ、正式入学以前より五橋中通学となり、卒業迄通算四年通ったことになりました。卒業は昭和二十七年三月、同期会を文字通り『五橋二七会』と命名し、満四十八歳の同窓会総会の幹事当番が契機となり、その結束がより深まり、爾来三十年毎年同期会の総会を開催、今年も三十名出席、同期会の有難さと重みを痛感いたしました。それもこれも『五橋同窓会魂』あつてこそであります。同窓会会員の皆さん、同期会・同窓会を大切に守り、そして長続きをさせましょう。

(同窓会顧問  
五橋二七会  
佐藤安彦)

## 古希の祝い

(昭和三十六年卒)

平成二十六年十月二十一日・二十二日、昭和三十六年卒の同期会(古希の祝い会)が秋保温泉で開催されました。

当日はあまりよい天気ではありませんでしたが、集まった六十二名の顔は晴れ晴れ。受付には元有名野球選手から七十本の赤いバラのプレゼントがありちよつとしたサプライズ：。

卒業から半世紀、それぞれ老けましたね、でも、それぞれに面影は残っていました。会は参加者全員の集合写真から始まり、幹事の挨拶、乾杯と続き、宴たけなわに、その後各クラス員の近況報告があり、中学校時代の話題やその後の生活、孫や病気のことで話は尽きません。



至る所でカメラがパチリ。中学時代のあだ名や、君付け、呼び捨ての名前が飛び交って、奇声を上げ、笑いあい、中学生時代に戻っている。

二次会はカラオケルームにて、自慢の喉を披露し、またまた盛り上がり、幹事部屋での三次会へ、次の同期会の話となり、喜寿だ、傘寿だと酔っ払いが騒いでいる。

元気で参加できるのは幸せなこと、私も元気であれば次回も喜んで幹事を引き受けよう。

翌日はそれぞれが、また今の生活へと戻って行ったが、県外組と幹事とで列車の時間まで四次会へ。昼食をとりながら又の再会を誓い、別れを惜しみました。

大宮俊子(旧姓石川)



五橋中学校昭和36年卒古希の祝い会  
於：秋保温泉ホテルニュー水戸屋 平成26年10月21日

五橋中の今 学校要覧27年度版より  
「五橋中の特色ある教育活動」

学区内小学校との連携

小中合同の挨拶運動を学区内の4小学校と行いました。  
生徒会が中心になって行う「児童生徒ふれあい広場」では、小中学生が一緒にゲームをするなどして交流しました。



特別選抜講座

親師会や市民センターの協力も得て、昨年度は筆や紙飛行機、百人一首、生け花、お子様ランチ作り等、30のユニークな講座を開設しました。  
写真は「キャップハンディ体験」と「弓道」の様子です。



中央署との連携

健全育成キャンペーンに参加し、一番町で吹奏楽部が演奏しました。アルカス・ポラリス合同で清掃活動もしました。



市民センター行事等  
地域行事への参加

青葉区中央市民センターで開催されるサイエンスフェスティバルに科学部が参加しています。また、各市民センターで書道部や茶道部、美術部が参加し、活動しました。吹奏楽部や合唱部も多く場で演奏を披露しています。写真は合唱と美術部の作品展示です。



ボランティア活動

朝の挨拶運動や朝清掃には、委員会や部活動ごとに取り組んでいます。  
また、昨年度も奉仕委員会を中心にペットボトルキャップの回収を行い、全校で107,500個以上を集めました。



五橋中復興プロジェクト

全市一斉のプロジェクトでは、登校時に通学路のゴミを拾って登校しました。また全員で千羽鶴を折ってアーケードに飾りました。全市の「復興プロジェクト会議」に参加し、復興に向けて話し合いました。募金活動も行い、太白山ふれあいの森協力金として寄付しました。



学校の沿革 (抜粋)

旧制時代	明治43. (1910)	4. 1	仙台市東二番丁高等小学校として開校
	大正11. (1921)	4. 1	仙台市五橋高等小学校と改称
	昭和16. (1941)	4. 1	仙台市五橋国民学校と改称
	昭和17. (1942)	4. 1	仙台市五橋青年学校を併設
新制時代	昭和22. (1947)	4. 1	仙台市立第九中学校として創立
		4.22	開校記念式 (以後この日を開校記念日)
		6.20	生徒会結成
	昭和24. (1949)	10. 1	仙台市立五橋中学校と改称
	昭和25. (1950)	2. 7	校歌制定
新制時代	平成14. (2002)	3. 6	新校舎引き渡し
		7. 5	新校舎落成記念式典 (同窓会よりブロンズ像「ミネルバとともに」寄贈される)
	平成22. (2010)	10.15	100周年記念式典



旧校舎 (昭和30年代) 北側より



現在の五橋中 (東側より)



「ミネルバとともに」

昔ギリシャでは、梟は知恵の神ミネルバの使いとして祭られていました。五橋中学校の3年間、仲間と共に学び生きる力の源となる知恵を深め、のびやかな人間として育つことを願い、2002年新校舎落成を記念して同窓会より贈られました。

校章について



本校の校章は昭和22年6月1日制定。外側の波形は流れる清水。五角形は五つの橋桁を示す。また、「五橋」(ゴキョウ)の音から「五経」に通じ、橋の脚と「中」の字が外へ開いているのは五橋中の限りない発展を意味し、輪郭の曲線は平和の象徴でもある。



五橋魂

「困難な時でもみんなが頑張るから自分も頑張るんだ」という思いは、五橋中の伝統として今でも受け継がれています。写真は体育館のステージ横に掲げられている額です。

◆◆◆ 学校データ ◆◆◆ (H27. 5. 1現在)
学級数 1年7 2年6 3年6 クインタス2 生徒数 675 職員数 45
校長 郷家 雄 親師会会長 力 牧彦
部活動 陸上・野球・サッカー・ソフトテニス・バスケ・バド・バレー・卓球・水泳・剣道・ハンドボール・吹奏楽・合唱・美術・科学・茶道・書道
生徒会 生徒会事務員・中央委員会・学年連絡会・各種委員会(奉仕・保健・美化・広報・給食・図書) 部活動委員会・放送運営委員会・応援団・復興プロジェクト委員会
アクセス 地下鉄：五橋駅下車 徒歩2分 市バス：市立病院・福祉プラザ前下車 徒歩2分

### ◇平成26年度 同窓会事業報告◇

- ・第1回幹事会 平成26.5.28  
(被服室)
- ・第2回幹事会 平成26.7.17  
(被服室)
- ・第3回幹事会 平成26.9.3  
(被服室)
- ・平成26年度同窓会総会 平成26.9.20  
(ホテルメトロポリタン仙台)
- ・総会反省会 平成26.11.5  
(鳳山)
- ・五橋会新年会 平成27.1.17  
(土風炉仙台あおぼ通り駅前店)
- ・同窓会入会式 平成27.3.4  
(体育館)

### ◇平成26年度同窓会会計報告◇

【収入】	前年度繰越金	561,723円
	26年度卒業生入会金	232,000円
	26年度総会仮払金戻し	200,000円
	26年度総会剰余金	65,935円
	雑収入	166円
	計	1,059,824円
【支出】	会議費	11,885円
	会報印刷費	68,040円
	通信費	17,302円
	事業費(入会式・卒業式)	106,232円
	27年度仮払金	200,000円
	計	403,459円
	収支差額(剰余金)	656,365円
	基金特別会計へ繰入	65,935円
	次年度への繰越金	590,430円
【基金特別会計】		1,890,336円

平成27年3月31日

上記の通り相違ありません。

会計 村上文俊®

### ◇平成26年度同窓会監査報告◇

監査の結果適正であることをご報告いたします。

平成27年4月8日

監事 渡辺博之®  
監事 東郷範子®

## 五橋同窓会会則

第一条 この会は五橋同窓会といい、事務所を仙台市立五橋中学校に置く。

第二条 この会は会員相互の親睦向上と母校発展とを図るのが目的である。

第三条 この会の会員は下記のとおりとする。

1. 通常会員

(1) 第九中学校および五橋中学校卒業生と在学したことのある者。

(2) 東二番丁高等小学校、五橋高等小学校、五橋国民学校高等科卒業生と在学したことのある者。

2. (1) 五橋中学校現職員

(2) 明治四十三年創立以来の旧職員

第四条 この会は第二条の目的を達成するために必要な事業を行う。

第五条 この会の役員

1. この会に下の役員を置く。

(1) 参与 現校長 (2) 会長 1名 (3) 副会長 若干名

(4) 幹事長 1名 (5) 副幹事長 3名

(6) 幹事 各卒業年度より2名選出 (7) 監事 2名

2. この会に顧問を置くことができる。

第六条 役員任期は、2年とする。ただし再選することができる。

第七条 この会には支部を置くことができる。

第八条 この会には次の部を置く。

1. 壮年部、成年に達した会員をもって構成する。

2. 青年部、成人に達しない会員をもって構成する。

第九条 この会の会議は総会と役員会とし、総会は年1回、役員会は随時これを開く。

第十条 この会の経費は入会金と会費および寄附金、その他の収入でこれにあてる。

第十一条 入会金は1人千円とする。

第十二条 この会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わる。